科目コード	R24213	科目名	理学療法評価学 II				
履修区分	必修	開講期	2年後期	授業回数	15回	単位数	1単位
担当者	江越　正次朗						
授業の概要	理学療法評価の目的や方法を学習し、評価結果について統合と解釈を加える。アクティブラーニング（グループワーク、対話・議論型授業）を取り入れ学びを深める。						

DPとの関連		
	①慈愛ある豊かな人間性と人間を広い領域から捉える教養を身につけている	△
	②理学療法・作業療法を実践するための専門的知識・技術を身につけている	◎
	③生命の尊厳や人間尊重を基本とする高い倫理観を持ち、自律して行動できる思考力や判断力を身につけている	○
	④理学療法士・作業療法士として課題を解決しようとする情熱と創意を持っている	○
	⑤地域社会・国際社会の一員として、専門職種と協働できる専門知識、コミュニケーション能力を身につけている	○
	2025年度以降の学則適用者用のDPとの関連を記載しています。2024年度以前の学則適用者は項目順や表現が異なりますので注意してください。	
	※DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力	

到達目標	目的に応じた理学療法評価の項目を述べることができるようになる。 理学療法評価の実施法について述べることができるようになる。 評価結果に基づいて、統合と解釈を記載することができるようになる。
履修上の注意事項	小テストおよびレポート課題があります。 携帯電話等のカメラ機能を使用した黒板およびスライドの撮影は厳禁とします。

授業計画

回数	講義内容【担当教員】	事前・事後学修
1	概論、リスク管理	テキストにて該当内容の予習と講義の復習(60分)
2	深部反射・病的反射	テキストにて該当内容の予習と講義の復習(60分)
3	筋緊張検査・片麻痺検査	テキストにて該当内容の予習と講義の復習(60分)
4	表在・深部感覚検査	テキストにて該当内容の予習と講義の復習(60分)
5	協調性・バランス検査	テキストにて該当内容の予習と講義の復習(60分)
6	運動発達評価	テキストにて該当内容の予習と講義の復習(60分)
7	痛みの評価・意識障害尺度・高次脳機能検査	テキストにて該当内容の予習と講義の復習(60分)
8	前半のまとめ	前半内容の復習(60分)
9	整形外科的評価	テキストにて該当内容の予習と講義の復習(60分)
10	姿勢分析	テキストにて該当内容の予習と講義の復習(60分)
11	動作分析	テキストにて該当内容の予習と講義の復習(60分)
12	呼吸・循環器の評価	テキストにて該当内容の予習と講義の復習(60分)
13	ADL評価	テキストにて該当内容の予習と講義の復習(60分)
14	統合と解釈	テキストにて該当内容の予習と講義の復習(60分)
15	統合と解釈からの理学療法プログラム立案	テキストにて該当内容の予習と講義の復習(60分)

成績評価方法	期末試験80%、中間テストおよびレポート20%とする。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。

	書名・著者（出版社）	ISBNコード
教科書	理学療法評価学第4版・内山靖（株式会社　医学書院）	978-4-260-04969-6
参考書	＜PT・OTのための測定評価DVD Series＞　6　整形外科的検査	978-4-89590-491-9
	骨格筋系のキネシオロジー　第2版・Donald A. Neumann（医歯薬出版株式会社）	978-4-263-21395-7 C3047
	ベッドサイドの神経の診かた・田崎　義昭（南山堂）	978-4-525-24798-0

教員からのメッセージ	何を明らかにするための評価なのかを解剖学的、生理学的、運動学的な知識を裏付けに考える癖をつけてください。
教員との連絡方法	研究室（研究棟201号室）へお越しください。
実務経験のある教員	病院で理学療法に従事した経験のある教員が、理学療法評価について講義を行う。